

平成30年第10回定例教育委員会

平成30年10月26日(金)午後2時30分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長	月田健二	説明員	教育部長	萬直樹
	委員	支部英孝		教育部次長	伊藤忠信
	委員	橋本幸子		学校教育支援室長	
	委員	須田壽美江			谷口圭吾
欠席者	委員	林大輔		総務課長	近藤澄人
				学校教育課長	廣田修行
				教育支援課長	松井正行
				給食センター長	鈴木知幸
				対雁調理場長	鈴木正春
				生涯学習課長	天野保則
				スポーツ課長	三浦洋史
				スポーツ課主幹	遠藤毅
				情報図書館長	山本則行
				郷土資料館長	榎田智幸
				郷土資料館主幹	兼平一志
			記録員	総務課総務係長	嶋中健一
			傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 平成31年度予算編成方針について
- (2) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (3) 北海道胆振東部地震による郷土資料館煙突の破損について

2 審議事項

- (1) 平成30年議案第40号
職員の交通事故等に係る処分について
- (2) 平成30年議案第41号
江別市立小学校及び中学校通学区域変更の諮問について
- (3) 平成30年議案第42号
財産の取得(小学校教育用コンピュータ機器)について
- (4) 平成30年議案第43号
江別市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例の制定について
- (5) 平成30年議案第44号
平成30年度江別市一般会計補正予算について

3 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 江別市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成30年第11回定例教育委員会の日程について

会 議 録

月田教育長

(開会)

ただいまから、平成30年第10回定例教育委員会を開会いたします。
 本日の議事日程は、配付のとおりであります。
 会議に先立ち、本日の会議録署名人を、支部委員にお願いいたします。
 議事に入ります前に、お諮りしたい事項がございます。
 議案第40号の職員の交通事故等に係る処分については、人事案件でありますことから、
 秘密会による審議を提案するものでございます。
 これにご異議ございませんか。

(一同了承)

委員の皆様のご賛同が得られましたので、議案第40号は、秘密会により進行いたします。
 本件を本日の審議順の最初に行い、秘密会終了後は、その他の説明員入室のため暫時
 休憩いたします。
 その後、配付の会議次第にしたがって進行してまいります。

<秘密会につき会議録省略>

委員会を再開します。議事に入ります。

1の報告事項(1)平成31年度予算編成方針についての報告を求めます。
 萬教育部長お願いします。

萬教育部長

報告事項(1)平成31年度予算編成方針についてご報告申し上げます。

資料に記載の内容は、去る10月10日の拡大庁議を経て、市長から示されたもので、
 市のホームページでも公開されておりますので、私から、特徴的な事項について申し上げます。

初めに、資料1ページ1の総論であります。内閣府発表の9月月例経済報告では、景
 気は緩やかに回復しているとしながらも、自然災害の経済に与える影響、とりわけ道内
 では胆振東部地震等の影響が懸念されるとしております。

その上で、国はいわゆる骨太の方針2018において経済再生と財政健全化目標の双方
 の実現を目指す方針を示しています。

平成31年度は地方選挙の年であり、市の予算編成についてはいわゆる骨格予算とな
 りますが、えべつ未来づくりビジョン10か年計画の後期5年間の初年度として、まちづ
 くりの基本理念に基づく、魅力あるまちを目指して政策を推進するとしております。
 引き続き、厳しい財政状況下での予算編成となるため、政策推進に向けた財源確保が強く求め
 られているところであります。

次に、2の政策の基本方針であります。2ページ目にまたがりませんが、えべつ未来づ
 くりビジョンのまちづくりの基本理念の下、新たなえべつ未来戦略を政策の中核に据えた
 政策の推進、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立
 を効果的に進めていくこととしております。

次に、3の行財政改革の推進では、平成31年度は、社会保障関連経費の増加などによ
 り所要の一般財源の増加が見込まれることから、なお一層の既存事務事業の大胆な見直し
 を行い、財源を生み出す提案をするよう求めています。

次に、4の重点事項では、新たなえべつ未来戦略の初年度として、三つの柱からなっ
 ており、教育委員会としては、②の安心して子どもを産み育てることができるまちづくりに、
 主に関わっております。

3ページの予算編成の基本方針では、1の予算要求基準の1項目目に、引き続き危機的
 な財政状況にあることから、平成30年度当初予算の一般財源所要額から5%の削減を求
 めるものであります。資料にございませんが、別に示されている財政課の試算では、教育
 委員会として、平成30年度当初予算に対し、約7,100万円の削減を目標とするもの
 で、例年のない厳しい要求基準となっております。

その他、4ページ以降は編成方針等の詳細で、記載のとおりでございますので、説明を
 省略させていただきますが、最後のページに平成31年度の予算編成事務日程を記載して

	<p>おり、年明け1月28日に予算案内示、1月29日に予算案確定、2月5日に予算記者発表を予定しております。</p> <p>これに対応する教育委員会の関係では、11月に予算要求方針等をお諮りし、12月には予算要求案に関する主要事業等を、2月には査定された教育予算全体と主要事業、来年度の教育行政執行方針をお諮りする予定であります。</p> <p>以上であります。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、平成31年度予算編成方針について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>資料3ページの予算要求基準で、一般財源所要額から5%の削減を行うということが求められていて、これがものすごく厳しいと感じていますが、いかがでしょうか。</p>
萬教育部長	<p>昨年度、平成30年度予算編成に当たっては、3%の削減を目標としていました。今年度は、他会計への繰り出しなどの経費がかさんでいることから、一段と厳しい要求基準となっております。</p>
月田教育長 須田委員	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>一つだけお願いします。</p>
月田教育長	<p>5ページの総括事項にも書かれていますが、新規事業要求の中にもあるように、歳出削減のために安易に新規事業を抑制すれば良いという考えに立たずに進めてほしいと思います。安易に切り捨てることなく、新しいことでも、可能なものは始めていくことができればと思っていますので、事務局の皆さんもよろしく願いいたします。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
廣田学校教育 課長	<p>次に報告事項(2)平成30年度全国学力・学習状況調査の結果についての報告を求めます。</p> <p>廣田学校教育課長お願いします。</p> <p>報告事項(2)平成30年度全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。</p> <p>平成30年度の全国学力・学習状況調査は、平成30年4月17日火曜日に実施され、7月下旬に文部科学省より江別市教育委員会にその集計結果が送付されました。</p> <p>その結果の分析が終わりましたので、このたび、ご報告するものです。</p> <p>資料の1ページをご覧ください。</p> <p>Iの調査の概要については記載のとおりです。</p> <p>次に、IIの結果の概要ですが、まず、1の教科に関する結果の概要ですが、小学校の平均正答率は、北海道との比較では、国語A、算数Aの2教科で上回り、国語B、算数B、理科の3教科は北海道と同様です。また、全国との比較では、国語Aが全国を上回り、国語B、算数A・B、理科の4教科で全国を下回っています。</p> <p>中学校では、北海道との比較では、すべての教科で上回り、また、全国との比較でも全ての教科で全国を上回っています。</p> <p>次に、2の質問紙調査に関する結果の概要ですが、放課後に、家で勉強や読書をしていると答えた割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を上回っています。</p> <p>また、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームやインターネットをしたりしていると答えた割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を上回っています。</p> <p>次に、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思うと答えた割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均を大きく上回り、江別市の学校は大変落ち着いた状態にあると言えます。</p> <p>また、パソコンや電子黒板、実物投影機等を活用して授業を行った割合は、全国平均を大きく上回り、ICTを活用した授業が積極的に行われています。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>Ⅲの各教科の結果については、2ページから11ページに掛けて記載しております。</p> <p>教科ごとに、正答数の分布グラフ、江別市、北海道、全国の平均正答数と平均正答率及び学習指導要領の領域別の設問数と平均正答率の表を記載しております。</p>

	<p>次に、12ページをご覧ください。</p> <p>Ⅳの質問紙調査の結果についてですが、1の児童・生徒質問紙では、児童生徒が学習習慣や生活習慣等について回答した結果であり、家庭の生活などの9項目について、学力や生活習慣などの特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取り組みを四角で囲んだ部分に記載しております。</p> <p>次に、14ページをご覧ください。</p> <p>中段部分、2の学校質問紙は、学校の教育活動等について学校が回答した結果であり、学習態度・礼儀正しさなど6項目について、学力向上等の取り組みの中から特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取り組み等を四角で囲んだ部分に記載しています。</p> <p>なお、16ページから30ページは、児童・生徒質問紙と学校質問紙の項目について、グラフを掲載しておりますので、ご参照ください。</p> <p>続きまして、31ページの江別市学校改善支援プランをご覧ください。</p> <p>まず上段の、明らかになった課題として、主なものとしては、イの主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善による学習活動の質的な向上、カリキュラム・マネジメントの確立、ICT機器やデジタル教科書の効果的な活用、家庭学習の習慣化、学習サポートを継続する必要があること。エの自分には良いところがあると思うと回答した割合は、小学校6年生、中学校3年生ともに全国平均と同様であるが、引き続き、自己肯定感や自己有用感を高める教育を充実していく必要があること。オの読書活動の充実を図る取り組みの継続、力の小中学校間で児童生徒の学習状況について情報を共有し、学力向上に向けた小・中連携を一層推進していく必要があるとしております。</p> <p>資料の下段、左側は課題解決に向けた学校の取り組みであり、右側が、学校に対する教育委員会の支援であります。</p> <p>これらの分析結果と支援プランについては、来月の校長会議において各学校に情報提供を行い、市教委と学校が連携・協力し、学習状況等の改善を図っていきたいと考えております</p> <p>なお、調査結果については、昨年度と同様にホームページで公表する予定です。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について、質問等がございましたらお受けします。</p>
須田委員	<p>小学校と中学校を比べると、中学校が全道、全国平均を上回っているのですが、小学校は、国語A以外は下回っている感じがします。この結果は、どのように考えたら良いのでしょうか。単純に、中学校の先生方は一生懸命で、小学校の先生方は、もう少し頑張らなければならないと考えていいものなのかと思うのですが、どういうふうに捉えたらいいのでしょうか。</p>
廣田学校教育課長	<p>委員ご指摘のとおり、小学校については全国平均と同程度、中学校については全国平均以上になっています。各学校では学力向上に向けて取り組んでおりますが、小学校は素直さを残して卒業させて、中学校につなげていくという考え方があります。また、各学校では、学力向上のために少人数指導ですとか、TTなどによる学習支援が行われているのですが、学校外での家庭学習の関係で考えますと、近年、小学校でも家庭学習をするようになってきておりますが、中学校はその辺りが徹底しています。この辺が、学力向上につながっているものと認識しております。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>12ページの自己肯定感のところですが、自分には良いところがあると思うという回答が、これまでずっと低かったと感じているのですが、今回は小学校で8.4ポイント、中学校で13.4ポイント上がっているということで、大変喜ばしいことと感じております。</p>
廣田学校教育課長	<p>この点、各学校で特別な取り組みがあったのでしょうか。</p> <p>今回は、全国平均と同程度ということで、前回から増えております。</p> <p>以前から、学校としては児童生徒の良いところを認めていると思っているのに対して、子供たちは、それほどとは感じていないという結果が出ており、乖離が生じておりました。</p> <p>学校では、児童生徒を褒める、認めるといったことについて力を入れているということはあると思います。</p>

<p>須田委員 月田教育長 支部委員</p>	<p>今の件に関連するのですが、先生が認めてくれているかどうかというところが、昨年よりも下がっているようです。先生も頑張ってもらいたいです。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>いろいろなグラフが載っておりますが、正規分布というか、普通はどこかに山ができるのが一般的ではないかと思っています。ここで解決できるわけではないと思いますが、正答数が1問から8問まで同じような数になっていて、おまんじゅうのような形のグラフになっているものがあります。</p> <p>例えば、10ページの数学B、応用編のグラフがそうなのですが、分かっている人もある程度いて、分かっていない人もある程度いるということで、先生の教え方に差異が出ているのではないかと心配になりました。</p> <p>つまり、正答数がどこかに集約しないままの結果で終わっているのでも、先生方にも授業の進め方で努力していただきたいと思うのですが、この点はいかがでしょう。</p>
<p>廣田学校教育課長 支部委員</p>	<p>ただいまグラフのお話がありましたが、理想的なグラフは、正答数の多い右側が盛り上がっている状態かと思っています。ご指摘のあったおまんじゅうのような形になっていることについては、学力の底上げをすることによって、右側に寄せていく取り組みをする必要があります。学校ごとの状況は異なりますが、そうした取り組みは進めているところです。</p> <p>小学校の算数Bも同じような傾向ですね。応用の部分ですので教え方は難しいのかと思いますが、現場も知らずに言えることではありませんが、グラフを見る限りでは、一つ工夫が必要になるような気がします。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>8ページの中学校国語Bを見ると、6問、7問を解けた生徒が全国平均、全道平均と比べて江別市は多いという結果が出ています。8問解けた生徒も多いです。また、3問、4問正解した生徒は、全国、全道の平均より少ないということですので、子供たちがかなり頑張っている様子が、このグラフからも分かると思っております。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>さらに、9ページを見ると、数学Aは26問、31問、33問解けた子供たちがものすごく多くなっていますので、全国よりも良くなっているのではないかと思います。</p> <p>全道の分析はまだ出ておりませんが、中学校では札幌市より江別市の方が上でしたので、おそらく江別市は、35市の中ではかなり上位の方ではないかと思っています。</p> <p>先ほど、小学校の先生方にもっと頑張ってもらおうという話も出ておりましたが、中学校で学力を付けさせるためには、小学校の段階で、余りにもきりきりとやりすぎると、先生の言うことをきちんと聞かなくなったり、親の言うことも聞かなくなったりすると困りますので、それよりも素直な子供に育ててほしいということ、私は口が酸っぱくなるほど言っております。小学校は学力よりも態度であり、そういうところを伸ばしてほしいということです。それらが、この結果に顕著に表れているのではないかと思っております。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p>
<p>須田委員 廣田学校教育課長</p>	<p>13ページの新聞を毎日読むかどうかという質問ですが、今は、新聞を取っていない家庭も結構増えていると思います。新聞を毎日読むかどうかは、新聞を購読しているかどうかにも関わりますが、その点は、この調査をするときに調べているのでしょうか。</p> <p>新聞を購読しているかどうかについては、この調査の際には把握しておりません。ただ、学校訪問を実際に行きますと、新聞を取っていない家庭も多いというお話は耳にしております。</p>
<p>支部委員</p>	<p>なお、学校図書館には新聞を置くようにしておりますので、家庭では新聞を取っていないこともあります。新聞を読むことができる環境は整っていると思います。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>ただいまの件に関係しますが、子供向けの新聞が折り込まれてくる新聞社もあるようですので、図書館を利用して、そういうものを教材とした授業をやっているという話も聞いております。新聞を取っているかどうかにかかわらず、現場の先生方も、記事の内容を見て教材に使いたいという記事があれば、図書館を利用しながら授業をされているのではないかと思います。</p> <p>学校では、新聞を使って授業をするという工夫もされていると思いますし、新聞は図書館にも置いてあります。新聞に限った話ではなく、一つ前の13ページ(6)の②にある質問で、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心があるかどうかという設問の結果を見ますと、関心を持っているお子さんが多いようですので、あまり心配することではな</p>

月田教育長	<p>いのだろうと思います。</p> <p>社会の流れとしては、新聞を毎日読んでいるかどうかという設問自体が今後無くなるのではないかと思うぐらいですので、違ったところでニュースとか社会の出来事に關心を持ってもらえるようにしていけばいいのではないかと思います。</p> <p>学校では、習字の授業が困っているという話を聞いています。</p> <p>半紙に書いたものを挟むために、新聞を半分に切ってホチキスで留めたものを作ってくるように言うのですが、私の家には新聞がありませんと言う子供がいます。</p> <p>そこで、私が校長をしていた時には、自分の家の新聞紙を全部学校に持って行って、新聞紙を持っていない子供たちに配り、休み時間にホチキスを使って作るように指導しておりました。今は、もっと新聞のない家が多くなっているのではないのでしょうか。</p>
橋本委員	<p>今のお話のような場合、おじいちゃんやおばあちゃんの家新聞紙をもらいに行ったという話も聞いております。ひよっとすると、そういったこともこれからは難しくなってくるのかもしれない。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>次に報告事項(3)北海道胆振東部地震による郷土資料館煙突の破損についての報告を求めます。</p>
櫛田郷土資料館長	<p>櫛田郷土資料館長お願いします。</p> <p>報告事項(3)北海道胆振東部地震による郷土資料館煙突の破損について、ご説明いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。</p> <p>1の発生日時であります。本件は、平成30年9月6日発生の地震により、煙突に破損が生じたものであります。</p> <p>2の破損部分についてですが、資料2ページの位置図をご覧ください。郷土資料館建物の2番通り側、職員通用口の横が当該煙突の位置であります。1ページに戻っていただきまして、(1)煙突頂部では、アーチ積みレンガが破損し、煙突内及び職員通用口付近に落下し、(2)のとおり、煙突内で断熱材の破損が生じたものであります。</p> <p>なお、破損に伴う人的被害は、発生しておりません。</p> <p>3の対応であります。①安全確保のため、通用口周囲の立入りを禁止としました。</p> <p>②破損後の経過であります。9月6日の地震発生日には、庁内アスベスト所管部局へ破損を報告し、館内暖房用ボイラーについては、以後稼働しないこととしました。</p> <p>9月14日、分析業者によるアスベスト分析調査を実施しました。煙突内の堆積物成分分析と、煙突周囲3か所での気中濃度測定であります。9月28日に結果の報告があり、煙突内堆積物からアスベストが検出されたことから、断熱材破損と判断いたしました。</p> <p>気中濃度測定では基準値を下回っており、周囲への飛散はなかったと考えております。</p> <p>(3)今後の対応につきましては、アスベストの飛散防止を確実なものとするため、10月中旬以降の煙突囲い込み工事等の実施に向け調整してきたところであり、資料作成時点では工事実施日は未定でしたが、10月30日に工事を実施する予定となりました。</p> <p>また、煙突内断熱材の除去及び取替工事他の経費について、補正予算要求を行います。</p> <p>以上です。</p>
月田教育長	<p>ただいま報告のありました、北海道胆振東部地震による郷土資料館煙突の破損について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>煙突が破損して暖房用ボイラーを稼働しないことにしたということですが、ボイラーは使えない状態のままですか。</p>
櫛田郷土資料館長	<p>ボイラーは稼働しておりません。寒さ対策のため、近々屯田資料館の開館期間が終了しますので、そちらの電気ストーブを郷土資料館に移して、当面の間、事務室の暖房とする</p>

月田教育長	<p>予定です。</p> <p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続いて、2の審議事項に入ります。</p> <p>審議事項(2)平成30年議案第41号 江別市立小学校及び中学校通学区域変更の諮問についての説明を求めます。</p> <p>廣田学校教育課長お願いします。</p>
廣田学校教育課長	<p>審議事項(2)議案第41号 江別市立小学校及び中学校通学区域変更の諮問についてご説明いたします。</p> <p>大麻北町の宅地造成に伴い、現在、当該地区は大麻泉小学校の通学区域であります。宅地造成後の通学路の状況等を勘案しますと、通学区域の見直しが必要と考えられます。</p> <p>そこで、江別市立小学校及び中学校通学区域審議会において、通学区域の変更に関することについて審議していただくため、2ページのとおり諮問いたしましたので、ご審議のほどよろしくご願いたします。</p>
月田教育長 橋本委員	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>諮問そのものは構わないと思いますが、一つ気になることがあります。</p> <p>こちらの分譲が行われた際に、業者は小学校や中学校を明示して広告を出していると思います。今日、確認をしていくことができなかったのも、どのように書かれていたのかは分からないのですが、大麻泉小学校に通うことになると思っている方もいらっしゃるかもしれないので、江別市では学校選択制があるのでどちらの学校も選択できるということ、転入してくる方に漏れなくお伝えいただけるようお願いしたいと思っております。</p> <p>時々、知らなかったというお話を聞くこともありますし、引越しの混乱の中でいろいろな情報が入って来て、聞き漏らしていることも多々あるでしょうから、こういう通学区域がぎりぎりの場所については、特に丁寧な説明をお願いしたいと思っております。</p>
廣田学校教育課長	<p>宅地造成を行う業者からは、大麻東小学校の通学区域と周知されております。ただいま委員からお話のありましたとおり、新小学校1年生については、学校選択制という制度がありますけれども、小学校2年生から小学校6年生については、学校選択制の対象からは外れてしまいますので、通学区域が大麻泉小学校から大麻東小学校に変わった場合については、最初の年については、経過措置としてどちらの学校も選べるという方式も考えていかなければならないと思っております。</p>
橋本委員 廣田学校教育課長 橋本委員	<p>転入された場合は、いずれの学校も選べるのでしょうか。</p> <p>いずれの学校も選べるということ。大麻東小学校の区域となっても、大麻泉小学校も選べるようにするという形を検討しています。</p> <p>引越しを伴わず、既に住んでいる場所で小学校に入学する場合は、入学の場合のみ学校を選べるということですね。</p> <p>転入のときでなければ、小学校2年生以降は選べないということですね。</p>
廣田学校教育課長	<p>今回は、年度途中の通学区域の変更となりますので、今年度中に宅地造成区域内に転入した児童に対する経過措置として、どちらの学校も選べるような形にしたいと考えております。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p> <p>それでは、平成30年議案第41号 江別市立小学校及び中学校通学区域変更の諮問についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
廣田学校教育	<p>次に、(3)平成30年議案第42号 財産の取得(小学校教育用コンピュータ機器)についての説明を求めます。</p> <p>廣田学校教育課長お願いします。</p> <p>審議事項(3)議案第42号 財産の取得(小学校教育用コンピュータ機器)について</p>

<p>課長</p>	<p>ご説明いたします。</p> <p>本件は、議会の議決に付すべき契約及び財産又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めたいので、ご承認願うものです。</p> <p>小中学校の情報教育を推進するため、市内の全小中学校にコンピュータを配置し、授業に活用しているところですが、今回、平成23年度に購入した小学校教育用コンピュータが購入後7年を経過したため、機種を更新を行うものです。1の物品の種類及び数量は、小学校の教育用コンピュータ182台です。2の契約の方法は、随意契約です。3の取得予定価格は、5,288万9,329円です。初年度元金据置きの元金均等5年払いでの年賦償還であります。取得予定価格の内訳は、元金が消費税を含めて5,287万6,800円、利子が12,529円となっております。4の契約の相手方は、北海道市町村備荒資金組合です。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>取得するコンピュータの概要ですが、(1)納入する学校は、豊幌小学校、野幌小学校、東野幌小学校、いずみ野小学校、上江別小学校の5校です。次に、(2)の数量は、教員用、パソコン教室用サーバ、職員室用サーバが各校1台でそれぞれ5台ずつ、児童用は、小規模校以外は基本40台で、計167台です。総台数は182台となります。次に、(3)製品の仕様等につきましては、①教員用コンピュータ、②児童用コンピュータ、③パソコン教室用及び職員室用サーバ、④周辺機器等、⑤その他の仕様は記載のとおりです。次に、納入期日は、平成31年1月19日です。</p> <p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしく願います。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成30年議案第42号 財産の取得(小学校教育用コンピュータ機器)についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
<p>三浦スポーツ課長</p>	<p>次に、(4)平成30年議案第43号 江別市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例の制定についての説明を求めます。</p> <p>三浦スポーツ課長お願いします。</p> <p>平成30年議案第43号 江別市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例の制定について、ご説明いたします。</p> <p>1ページをご覧ください。</p> <p>1の改正理由であります、江別市スポーツ推進審議会委員の選出に当たり、市民参加を推進し、公募により選出された市民の意見を聴取、反映するため、委員の区分を追加するものであります。</p> <p>2の改正条文の内容につきましては、2ページに記載のとおりであります。</p> <p>詳しくは、新旧対照表に基づき、ご説明いたしますので、3ページをご覧ください。</p> <p>ページの左側が改正前、右側が改正後であります。下線のある部分が、改正箇所を示しております。主な改正内容についてですが、第3条第2項に掲げる審議会の委員区分において、新たに第3号として公募による者を追加するほか、それぞれの各委員区分において人数の上限を削るものであります。</p> <p>なお、附則において、この条例は平成31年6月1日から施行することとしております。</p>
<p>月田教育長</p>	<p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしく願います。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは、平成30年議案第43号 江別市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例の制定についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>次に、(5)平成30年議案第44号 平成30年度江別市一般会計補正予算についての説明を求めます。</p>

近藤総務課長	<p>近藤総務課長お願いします。</p> <p>議案第44号 平成30年度江別市一般会計補正予算についてであります。第4回市議会定例会に提出を予定しております補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、一括してご説明いたします。</p> <p>なお、第4回市議会定例会に提案する前段として、原案を財政部局に提出しようとするものであり、今後、財政部局の査定如何によっては、補正額の変動等が考えられますことから、査定後の金額につきましては、次回の教育委員会においてご報告いたします。</p> <p>資料1ページをご覧ください。3の補正の内訳の上から順にご説明いたします。</p> <p>初めに、10款2項小学校費であります。学校教育課所管の小学校教育扶助費は、新入学児童生徒学用品費等の支給単価改定により、241万5,000円の増額です。</p> <p>次に、10款3項中学校費であります。学校教育課所管の中学校教育扶助費は、決算見込みにより、408万9,000円の減額であり、総務課所管の北海道胆振東部地震災害復旧事業(中学校)は、破損した学校施設の修繕工事費等として、大麻東中学校の給水管破損に係る修繕費等に74万8,000円、江別第一中学校屋内体育館の窓ガラス破損に係る修繕費に21万9,000円の計96万7,000円の増額です。</p> <p>次に、10款4項社会教育費であります。生涯学習課所管の北海道胆振東部地震災害復旧事業(ガラス工芸館)は、破損したガラス工芸館の煙突の改修工事費として293万8,000円を、北海道胆振東部地震災害復旧事業(旧町村農場)は、破損した旧町村農場の煙突の改修工事費として181万5,000円を、情報図書課所管の北海道胆振東部地震災害復旧事業(情報図書館)は、故障した非常用放送設備の交換工事費として129万6,000円を、郷土資料館所管の北海道胆振東部地震災害復旧事業(郷土資料館)は、破損した郷土資料館の煙突及び屋根の修繕工事費として1,682万1,000円を、郷土資料館管理運営経費は、煙突破損のため、暖房ボイラーが使用不能となったことに伴う暖房器の賃借料として47万3,000円を、北海道胆振東部地震災害復旧事業(史跡)は、破損した火薬庫の屋根及び外壁の修繕工事費として126万4,000円の増額です。</p> <p>次に、10款5項保健体育費であります。スポーツ課所管の北海道胆振東部地震災害復旧事業(屋内体育施設)は、破損した屋内体育施設の修繕工事費として、青年センターの窓ガラス破損に係る修繕費に147万円、東野幌体育館の天井断熱材破損に係る修繕費に32万4,000円の計179万4,000円の増額です。</p> <p>教育部補正額の合計は、2,569万4,000円の増額となるものであります。</p>
月田教育長	<p>以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくご願ひいたします。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。</p> <p>私から一つ確認ですが、この補正予算の要求に関連して、最初の地震だけではなく余震による被害もあったのでしょうか。</p>
近藤総務課長	<p>施設によって異なりますが、郷土資料館長からもお話がありましたように、地震によって直接破損したものもあります。また、総務課所管の大麻東中学校の給水管などは、地震があったのは9月6日なのですが、実際に水が出なくなったという連絡があったのは、数日後の9月13日というものもあり、余震による影響があったのではないかとと思われるものも含まれております。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p>
須田委員	<p>この補正予算要求の全てが地震の損害のようですので、必ず直さなければならないもののように思われるのですが、この予算が削られる可能性はあるのでしょうか。</p>
近藤総務課長	<p>基本的には災害復旧ですので、必要な予算であると教育部としては考えておりますが、財政部局の査定ということもありますので、100%予算として付くかどうかは、若干不透明な部分は確かにございます。</p>
橋本委員	<p>関連で伺いますが、この補正予算が決まるまでは復旧は行わずに、止まったままになるのですか。</p>
近藤総務課長	<p>補正予算が決まった後に行う工事もありますが、緊急を要するものについては、補正予算を見込む中で、既定予算の範囲で対応しているものもあります。</p>
月田教育長	<p>ほかに質問等はございますか。</p> <p>(質疑終了)</p>

松井教育支援課長	<p>それでは、平成30年議案第44号 平成30年度江別市一般会計補正予算についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p> <p>続いて、3のその他、各課所管事項についてに入ります。</p> <p>(1) 江別市いじめ防止対策審議会委員の委嘱についての説明を求めます。</p> <p>松井教育支援課長お願いします。</p> <p>江別市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について、ご説明いたします。</p> <p>江別市いじめ防止対策審議会委員は、平成30年10月1日に施行されました江別市いじめ防止対策審議会条例に基づき、2年の任期で、学識経験者、弁護士、精神科医、心理福祉の専門家、人権擁護委員の計5名への委嘱を予定しており、現在、委員の選考事務を進めているところであります。</p> <p>委員の委嘱につきましては、次回の定例教育委員会にご提案いたしますので、よろしくお願いいたします。</p>
月田教育長	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>それでは次に、次回の教育委員会予定案件及び日程について説明願います。</p> <p>近藤総務課長お願いします。</p>
近藤総務課長	<p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成30年度中学生国際交流事業について、平成30年度江別市一般会計補正予算の査定について、審議事項として、平成31年度江別市一般会計教育予算要求方針についてなどを予定しております。</p> <p>また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、11月22日木曜日午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p>
月田教育長	<p>ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は11月22日木曜日午後2時30分からということで、皆様よろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第10回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後3時32分

署名人(教育長) 月田 健二

署 名 人 支 部 英 孝